

**◆ 1年後期は、学習習慣の崩れに要注意です！**

4月8日の入学以来、半年が経ちました。大泉緑地でのクラスレク・BBQで盛り上がった遠足、体育祭に向けてのクラスの活動や部活動が本格化してきた5月。初めての高校の定期考査があった6月。6・7月は、本格的に高校生としての生活サイクルを送っているが、身体的には数ヶ月前まで中学生だったというギャップから、気持ちの面でも体調の面でも疲れがあらわれた時期でもありました。夏休みが開けてまもなく、9月初旬の文化祭、そして前期の終了と共に、高校生活の6分の1が終わりました。

みなさんそれぞれの半年をふり返って、思い描いていた通りに、またそれ以上に進められたこともあるでしょうし、ままならない現状にモヤモヤしていることもあるでしょう。

慌ただしく駆け抜けてきた印象のある前期に対し、これからの後期は生野高校という学びの場を基盤として、落ち着いて自分のペースで高校生活を進めていきやすい期間です。今こそ勉強や学校生活を振り返り、改めるべきところは、初心に立ち戻ってきちんと頑張り直しましょう。猛暑も一段落し、学校のペースにも慣れた今こそ、79期のみなさんのそれぞれの可能性の開花に向けて仕切り直しのチャンスです。

ところで、前期の進路講演会で「1年生の秋は、成績の変動が比較的大きい時期」という話があったことを覚えていますか？ 79期生に限らず、今までの生野生が1年次後半に直面していた状況ですので、事前に把握して対応しましょう。

キーワードは「学力の貯金」と「学習サイクル」です。高校受験に向けて一生懸命頑張

ったことで「学力の貯金」ができていたものが、夏頃には「貯金」が目減りし、秋頃には底をついてしまう状況が後期に出てきます。

高校の学習は質量ともに中学とは全然レベルがちがいます。入学後に「学習サイクル」を確立し、習慣化することで、徐々に、そして地道に地頭(じあたま)を鍛えて、学力を蓄えていく必要が生じます。4月～7月下旬の授業期間(1学期)で「学習サイクル」を確立していたか(または、サイクルを確立すべく模索しながら取り組み続けられたか)どうか。また、夏休み中に、上記の所謂1学期部分の手が回らなかったところを取り戻せたかどうか。これらに組み組んできた人は、「貯金」の効果が薄れることなく、合格時の勢いを維持または伸ばすことができています。逆に、不充分であった人は、「貯金」の効果が薄れるばかりでなく、その後の積み上げもかかないません。このようにして、「1年次の秋には成績変動が大きい」という話が出てくるのです。

**◆ 解き直し・振り返りの実行を！**

「79期生のみなさん、今、かつての定期考査・模試・小テスト・プチベの問題を解き直したら、全問正解できますか？」

先日までの前期期末試験の答えは、これからの1週間でだいたいの科目が返ってくるはずですが。後回しにすればするほど、モチベーションも取り組む意義も失われていくので、「毎日1科目ずつ解き直す」「10月〇日までには全科目解き直す」といった具合に、**コンスタントに、かつ期限を決めて“解き直し”に必ず、取り組みましょう。**ちなみに、この解き直しの予定は、漠然と“思っている”だけでなく、**スケジュール帳に書き込んで“可視化”することが大事**です。

「計画までは立てられる、それを実行に移すところが苦手」なのが、79 期に限らず、生野生の現実です。 実行に移せたならば「平日 90 分・休日 120 分」の生野スタンダードはあつという間に超えられます。

ここで、漠然と“解き直し”と言われても何をすればいいのかわからない人へ。

解き直しは、模範解答を写したり覚えたりする“作業”ではありません。時間無制限で構いません。教科書やノートを見ても構いません。習ったどの内容を使えば正解を導けるのかを明確にしていく、理解を伴う“営み”が解き直しです。 試験問題はあくまで材料にすぎず、解き直しを通じて今回の範囲の学習内容を整理し、理解を深め、使えるようにすることを意識してください。この営みは、1 回で完璧にできるものではありません。何回も続け、繰り返していくうちに、補わなければならない箇所が徐々に減っていき、完成に近付いていくものです。 次の機会に同様の問題と対峙した時、前期中間・期末試験の時よりも答えられる部分が増えていけば、解き直しは成功ですよ。

79 期生のみなさんは、当面の 10/20(日)の駿台ハイレベル模試と 11/8(金)の進研模試を、解き直しの効果を確認する“絶好の機会”に位置付けましょう。

人間は習慣の生き物です。学習習慣を維持して良き習慣を生きる中で、持続学習能力をレベルアップしていきましょう！

#### ◆ いよいよ文理選択本番へ

10/10(木)の 5 限 LHR は、体育館で 2 回目の文理選択説明会です。6 月に 1 回目の説明会があり、2 年次に向けて文系と理系の選択、さらに文系の中でも世界史 or 日本史の選択、理系の中でも理 I と理 II の違い、理科の選択、探究 II についての説明を聞いてもらいました。いよいよ、最終決定にむけての説明となります。

- ・ 5 月 進路講演会① (ベネッセ)
- ・ 6 月 進路講演会② (河合塾)
- ・ 夏休み オープンキャンパスの課題
- ・ 10 月 入試科目調べ (後日予定)

文理・科目選択に向けては、必ず、第 1～第 3 志望くらいの大学の受験科目は、今後の進路 HR で、自分できちんと調べてください。文理選択・科目選択は「自分の好きなもの」を選ぶ以上に、「大学側が受験生に求めているもの」つまり「受験科目」を優先して選ぶことが大切です。

文理選択の最終×切は 11 月 29 日(金)16:00 です(詳細は 10/10 に説明します)。まだはっきりと決まり切っていない人は、これからの 1 か月間、しっかりと授業に参加し、しっかり学習に取り組んで、自分の進みたい方向を見定めましょう。そして、担任・進路担当にも積極的に相談しましょう。自分の進む方向は、誰も自分ほどには悩んでくれませんし、誰も決めてはくれません。自分の進む方向を一番悩んであげられるのは自分であり、決めてあげられるのは、自分です。

必ず、進路の選択の幅を狭めない科目の選択をしてください。

「後悔しない選択を！」

#### ◆ 当面の予定

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 10/ 8(火) | 60 分授業(～10/10)     |
| 12(土)    | 土曜学習日⑥             |
| 10(木)    | 文理選択説明会②           |
| 16(水)    | 60 分授業             |
| 18(金)    | 65 分授業・大掃除(WAX 掛け) |
| 19(土)    | 午前授業・学校見学会①        |
| 20(日)    | 駿台ハイレベル模試          |
| 21(月)    | 代休                 |
| 24(木)    | 前期成績通知票配付          |
| 30(水)    | 午前授業・午后面談(～11/6)   |
| 31(木)    | 後期自治会役員            |
| 11/ 2(土) | 土曜学習日⑦(午前：部活禁止)    |
| 6(水)     | 部活禁止               |
| 7(木)     | プチベ④               |
| 8(金)     | ベネッセ総合学力テスト        |
| 15(金)    | 65 分授業・大掃除(WAX)    |
| 16(土)    | 午前授業・学校見学会         |
| 18(月)    | 代休                 |
| 28(木)    | 考査 1 週間前(部活禁止)     |
| 29(金)    | 文理選択用紙提出締切(16:00)  |
| 30(土)    | 土曜学習日⑧             |